

東京学芸大学附属国際中等教育学校は、 生徒の社会貢献活動を応援するクラウドファンディングを実施中！

東京学芸大学附属国際中等教育学校（東京都練馬区、校長 荻野勉、以下「TGUISS」）は、2020年12月25日（金）よりクラウドファンディングキャンペーン「日本でいちばんソーシャルグッドがうまれる学校」（<https://camp-fire.jp/projects/view/359160>：2020年12月25日～2021年2月27日）を実施しています。クラウドファンディングで得た資金は、TGUISS生のソーシャルアクション（社会貢献活動、本校ではSA活動と呼ぶ）を支援・促進するため、社会貢献に関わる授業や教材の開発、さらに実績やメソッドの全国への共有・拡散事業に使用します。

□「日本でいちばんソーシャルグッドがうまれる学校」を目指して

クラウドファンディングキャンペーンには、三つの目的があります。

- ① 生徒のソーシャルアクション（SA活動）への取り組みに対する支援
- ② ソーシャルアクション（SA活動）に関する授業・講座の開発
- ③ TGUISS でのノウハウを、他校などへ広く発信

TGUISSは2007年の開校以来、生徒のSA活動を推進し、また生徒も積極的に取り組んできました。

今回、これまでの実績を基に、持続的かつ組織的に生徒のSA活動を支援していく体制を構築していくこととなりました。これまでも、道徳やHR活動、総合的な学習の時間等でソーシャルアクションを意識した授業を行ってきました。また生徒の課題研究などでは、社会課題に関するソリューションを追究するテーマなどが多く設定されています。TGUISSとしての強みを活かし、TGUISS生と社会をつなぐプロジェクトを展開します！



クラウドファンディング概要

- 目標金額 100万円
- 形式：All in 方式
- 実施期間：2020年12月25日（金）
～2021年2月27日（土）：65日間
- キャンペーンサイト
CAMPFIRE：<https://camp-fire.jp/projects/view/359160>
Facebook：<https://www.facebook.com/ISS.miraikikin>

□みなさまからの支援で実現したいこと

① 生徒のソーシャルアクションへの取り組みにたいする支援

TGUISSではこれまでも、生徒の優秀なSA活動にたいして表彰をおこない、生徒のモチベーションの向上に努めてきました。今後さらに、SA活動の支援を充実させるためにも、社会貢献分野の学校図書を増やしていくことや、生徒研究活動の支えとなる助成金制度を確立していきたいと考えています。

② ソーシャルアクションに関する授業・講座の開発

ソーシャルアクションの取り組みは、授業や学校行事、部活動の場においてもさらに充実させていきたいと考えています。本校では、国際教養（総合的な学習の時間）をはじめ、道徳の授業、社会貢献分野の講座、宿泊行事やスクールフェスティバル（学園祭）などの学校行事においても、ソーシャルアクションを積極的に取り入れています。また、ソーシャルアクションに関するTGUISSオリジナル教材の開発にも取り組んでいきます。

③ ISSでのノウハウを、他校などへ広く発信

TGUISSでの多様なソーシャルアクションの実績やメソッドをまとめた『Social Action ガイド』を作成し、それらを他の学校や外部の団体にも共有・発信していきます。

【学校概要】

□ 学校名・設置概要

東京学芸大学附属国際中等教育学校 6年一貫制・共学

※略称「TGUISS（ティージーユーアイエスエス）」

校長 荻野勉

キャンパス : 東京都練馬区東大泉5-22-1

生徒・教職員数：生徒 約720名、教職員 約50名

学校HP : <https://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp/>



□ 教育目標・育てたい生徒像

教育目標

- * 世界に生きる学力と教養を身につけよう
- * 多様な表現力やコミュニケーション能力を育もう
- * 知・心・身体のバランスを大切にして成長し続けよう
- * 多様性の意義を認識するとともに、寛容性・耐性（トレランス）を育もう

育てたい生徒像

- * 現代的な課題を読み解く力
- * 対話を通じて人との関係性を作り出す力
- * 知識とイメージを自分で再構築する力
- * 異文化への寛容性・耐性

□ 沿革

2007年 附属大泉中学校・附属高等学校大泉校舎の統合、再編を経て附属国際中等教育学校の開校

2010年 国際バカロレア中等教育プログラム（MYP）校として認定

2011年 ユネスコスクール加盟

2014年 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校（第1期）

2015年 スーパーグローバルハイスクール（SGH）指定校

2016年 国際バカロレア・デュアルランゲージ・ディプロマプログラム（DLDP）を開設

2016年 理化学研究所と東京学芸大学（附属国際中等教育学校）が連携・協力協定を締結

2019年 スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校（第2期）

2019年 ワールドワイドラーニングコンソーシアム（WWL）事業連携校

□ 学校独自の学習領域「国際教養」

現代的な諸課題について主体的・協働的に課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようになるため、総合的な学習の時間を「国際教養」と称し、独自に学習領域を設定している。SA活動の推進も国際教養の一環と位置づけている。

国際教養の三本柱

国際理解	人間理解	理数探究
自国の文化・他国の文化を含めて、多様な文化・社会の在り方について理解を深める。	社会を支える一員として、学校・地域・国・世界に生きる人々の生き方や社会の在り方について考え、思いやりの心を身につける。	身の回りや世の中の様々な事象を科学的視点からとらえ、社会に活用していく方法について考える。

本リリースに関するお問い合わせ

東京学芸大学附属国際中等教育学校みらい基金

TEL : 03-5905-1326

E-mail : kikin@tguiss.jp

東京学芸大学附属
国際中等教育学校
みらい基金
Facebookページ

